

Vol.113
No.1
2022.7.22

農職組ニュース

茨城大学農学部
労働組合

第 113 期執行部です

2022年6月1日～2023年5月31日まで、どうぞよろしく願いいたします。

執行委員長 & 阿見事業場代表者 木下 嗣基

この度、第113期の農学部労働組合執行委員長を仰せつかりました。これまでに、農学部労働組合の執行委員を務めていない中でいきなりの執行委員長の大役ですが、微力を尽くす所存です。副執行委員長は経験豊富な牧山正男先生に、書記長は活動的な坂上伸生先生、執行委員には新進気鋭の吉田悠太先生にお引き受けいただいています。組合事務員の石川佳子さんと力を合わせ、農学部および茨城大学の労働環境の改善に務めさせていただきます。これから1年間よろしく願いします。

今期は、期末勤勉手当および地域手当について、これまでの合意が履行されるべく団体交渉を行っていきます。また、パートタイム・非常勤職員の無期転換についても団体交渉を行い問題解決に取り組みたいと考えています。

また、この数年間コロナ禍により活動を自粛・縮小していましたが懇談会や女子会などのイベントも徐々に行っていく予定ですので、みなさんのご参加をお待ちしております。

最後になりますが、農学部労働組合が過半数組合でなくなってから数年が経ちます。労働者の意見を反映させるには過半数組合への復帰は大変重要です。今年度も組合員の拡充に努めてまいりますので、みなさまのご協力を今後ともよろしく願いします。

副執行委員長 牧山 正男

今期の活動計画のうち、最重要課題のひとつが地域手当8%の獲得です。実はこれ、もともと8%が支給されていたのに、東日本大震災の発生直後の団体交渉の中で、不当かつ時限的に6%に引き下げられたのが発端です。牧山はこの当時の書記長でした。11年ぶりの執行部として、3キャンパス間の組合の連携強化などにより、なんとか8%を取り戻したいと考えています。

書記長 坂上 伸生

書記長として、木下委員長・牧山副委員長の下、吉田委員とともに勉強をさせていただきつつ、みなさまの働く環境をよりよくできるよう、努力していきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

庶務委員(会計) 吉田 悠太

第113期執行委員を拝命した吉田です。組合員としての経験が少なく、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、木下執行委員長の下、さまざま勉強させていただきつつ、努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

新規組合員募集！！

組合に加入されていない方がお近くにおりましたら、ぜひ加入をお勧めしてください。

現在、退職などにより、組合員が減少しております。

加入申込書は組合事務室、または組合掲示板（研究棟1階-ター横）
にごさいます。皆様のご協力をお願いいたします！



※内容についてのお問い合わせや情報提供、ご要望、組合へのご意見などありましたら、
農学部労働組合（029-888-8536 /dp37294827@lf.lolipop.jp）までお願いします。

第112期組合大会議事要旨

開催日時：2022年5月27日(金)12:00~12:40 場所：TeamsによるWeb会議

議長：須藤まどか先生 書記：西脇淳子先生 大会運営委員：久保山勉先生 出席者：過半数

1. 大会運営委員長の久保山委員より、組合大会の開会・大会成立宣言が行われた。
2. 第112期執行部の成澤委員長より、大会の議長（須藤委員）と書記（西脇委員）の選出がなされ、承認された。
3. 第112期執行部の成澤委員長より、第112期の活動報告がなされた。
 - (1) 団体交渉の結果、期末期の勤勉手当が4.3%に引き上げられた。また、地域手当のR3の見直しは要求しないが、R4からは7%への引き上げとなった。
 - (2) R3の全大協の大会には、成澤執行委員長と浅木執行委員が参加した。任期付き教職員問題に関して、全国的な地方大学の状況を参考とし、本学でも雇止めの改善に関して今後の検討が必要である旨が報告された。
4. 西川執行委員より、第112期の会計報告、池田委員より会計監査報告がなされた。R3の赤字の主要因はPCとプリンターの入れ替えである旨、また、会計監査は4月27日の12:30に、こぶし会館にて中平委員と池田委員の2名で行われたことが説明され、承認された。
5. 上妻委員より、第113期の役員選挙に関して、5月18日に期日前投票、5月19日に本投票が行われ、満票で承認されたことが報告された。投票率は86%であった。4名の役員名が紹介された。
6. 第112期執行部成澤委員長より、第113期の会計監査2名の名前が紹介された。
7. 第113期の会計予算（案）に関して、吉田委員より提案され、承認された。
8. 司会の須藤委員より、第113期の活動方針（案）に関しては、新旧での話し合いの後、後日、組合員に詳細を案内する旨が伝えられ、承認された。
9. 第113期副委員長の牧山委員により、スローガンの読み上げが行われた。
10. 久保山大会運営委員長より、閉会の宣言がなされた。

(以上)

農学部労働組合 第 113 期活動計画

① 組合員の拡大活動について

組合員の拡大について幅広い議論を行っていく。

② 期末勤勉手当について

今年度から人事院勧告に合わせることで合意しており、これを実現するべく団体交渉を行う。

③ 地域手当について

今年度 6.0%から 7.0%まで復活した地域手当を、本則の 8.0%支給へ戻ることが決定されている。大学の財政状況が交渉のポイントとなるが、実現に向けて団体交渉を行う。

国立大学法人茨城大学教職員賃金規程

(地域手当) 第 28 条

2 地域手当の月額は、基本給、基本給の調整額、管理職手当、職務付加手当、扶養手当及び教職調整額の合計額に、**100 分の 8.0** の割合を乗じて得た額とする。

附 則(令和 2 年 3 月 23 日規程第 11 号)

4 令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに支払う地域手当に関する第 28 条の規定の適用については、**同条第 2 項中「100 分の 8.0」とあるのは、「100 分の 6.0」と読み替えて適用する。**

④ 新年俸制の導入について

新年俸制で業績給が入る。これに対して、職責手当や資格手当の要求を検討する。資格を使って任に就いている間は少なくともこれらの手当てで支払われるべきと考える。資格を必要とする任の調査や、他の大学の事例などの調査を実施し、実現に向けた活動を行う。(111 期、112 期からの提案)

⑤ 有期雇用職員・パートタイム職員の待遇改善

有期雇用職員・パートタイム職員の雇用の実態について情報を収集し、無期雇用への転換を含めた待遇の改善の議論を行い、これを実現すべく団体交渉を行う。

⑥ 組合財政の健全化

2021年度は、PCおよびプリンターの更新(16万円)などがあったので赤字だったが、2022年度からは、収支は均衡すると考えられる。しかし、少し活動すると赤字になることも明白である。そこで、人件費の次に支出が大きい全大教との関係について議論を行う。

⑦ 職場懇談会

状況に応じて開催を行うが、対面を基本とし、遠隔も取り入れた形での開催を行う。

⑧ 女子会の開催

昼食会を開催する。複数回の開催も視野に入れ、1 回目は早期に開催する。

⑨ 秋耕祭への参加

参加の方向で進める。ただし飲食を伴う形での参加は行わず、バザーでの参加を検討する。(以上)